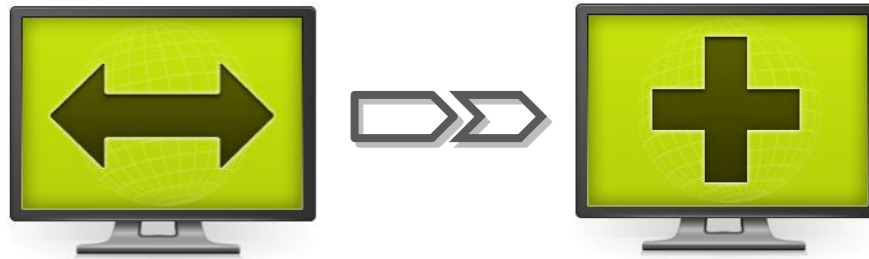


常駐接続 (ISL AlwaysOn) Wake On LAN 設定ガイド



株式会社オーシャンブリッジ
www.oceanbridge.jp

Wake On LAN機能について

■Wake On LAN（以下WOL）とは

ネットワークを通じて手元のコンピュータから離れた場所にある端末の電源を入れる機能です。

ISL AlwaysOn(Ver. 2.1.0以上)のWOLは、Magic Packet(マジックパケット)※方式を採用しており、ご利用いただくには一般的なWake On LAN製品と同様に、以下7点の確認および設定を行う必要があります。

1. 電源、マザーボード、OSがACPI機能に対応している
2. PCIバスからの電源投入にチップセットやバスが対応している
3. BIOSの設定で、Wake On LANによる起動を有効にしている ※
4. ネットワークアダプタ（カード）がMagic Packetを解釈し、受信できる
5. 内向きUDPポート2304が解放されている
6. ルーターがブロードキャストアドレスを許可している
7. 同一ネットワーク内に、電源の入っているISL AlwaysOnインストール済みの端末が最低1台存在している

※上記1, 2は特殊な環境下でご利用の場合を除き、Windows XP以降の端末をご利用の場合はほぼどの端末も対応しています。

※Windows 8、8.1の場合、環境によっては3. の設定に加えて高速スタートアップ機能を無効にする必要があります。

1. 電源、マザーボード、OSがACPIに対応している

電源、マザーボード、OSが、ACPI 2.0 (Advanced Configuration and Power Interface) に対応している必要があります。

※詳しくはお使いの製品のメーカーHPをご参照ください。

2. PCIバスからの電源投入にチップセットやバスに対応している

チップセットやバスが、PCI (peripheral component interconnect) 規格Rev. 2. 2 に準拠している必要があります。

※詳しくはお使いの製品の、メーカーHPをご参照ください。

【補足】

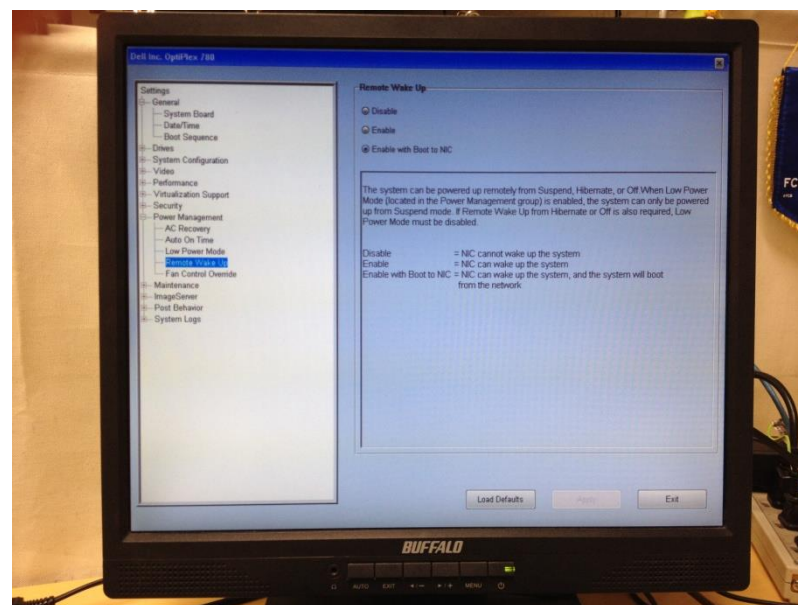
上記1、2については、特殊な環境下でご利用の場合を除き、Windows XP以降の端末でほぼ対応しています。

3. BIOSの設定で、Wake On LANによる起動を有効にしている

BIOSの設定で、WOLを有効にする必要があります。

(※BIOSの設定はお使いの製品によって異なります。また、メーカー出荷時に、WOLの設定が有効になっている場合もあります。
詳しくはお使いの製品のメーカーHPをご参照ください)

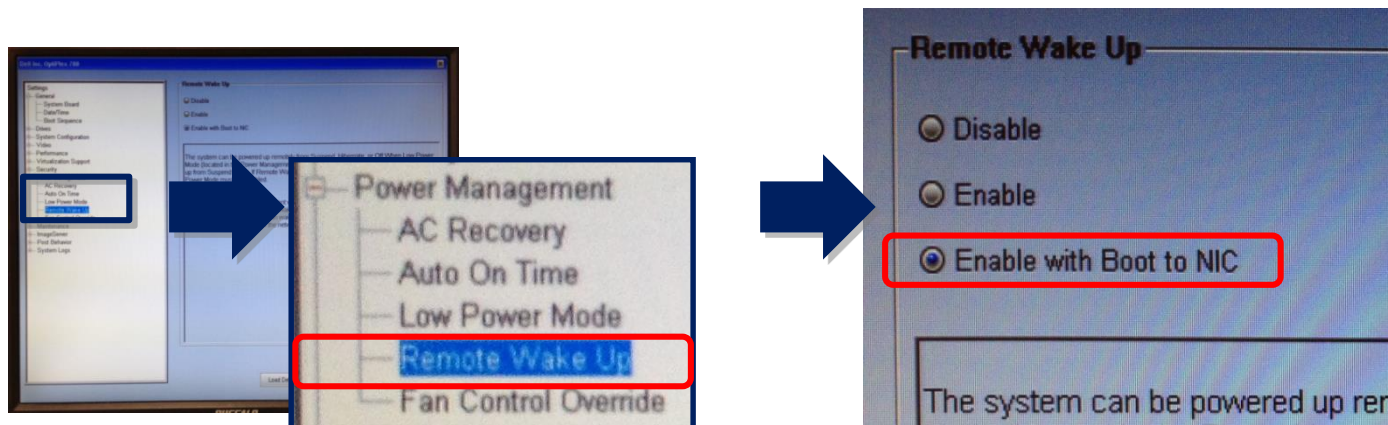
次のページに、WOLを有効にするためのBIOSの設定例
(Dell™ OptiPlex™ 780の場合) をご案内いたします。



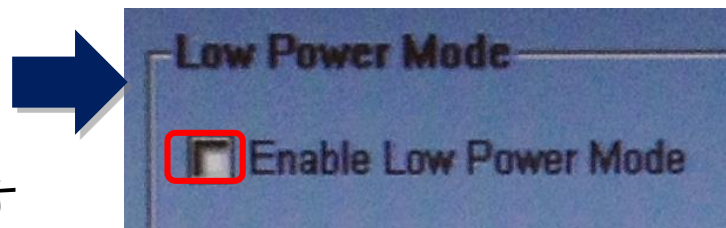
3. BIOSの設定で、Wake On LANによる起動を有効にしている

【例】 BIOSの設定 （ Dell™ OptiPlex™ 780の場合）

- ①起動中に[F2]キーを押し、BIOS画面を呼び出します
- ②[Power Management] > [Remote Wake Up] > [Enable with Boot to NIC]をONにします



- ③続けて[Power Management] > [Low Power Mode] > [Enable Low Power Mode]のチェックを外します



- ④設定を保存し、BIOS画面を閉じます
- ⑤パソコンを再起動します

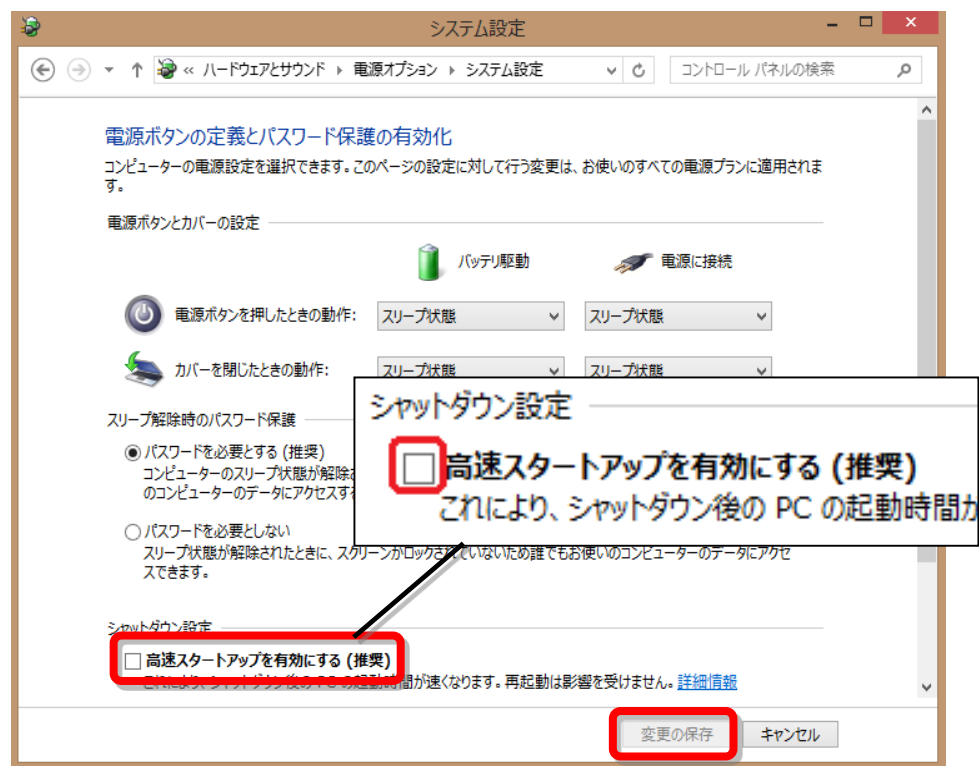
3. BIOSの設定で、Wake On LANによる起動を有効にしている

【補足】

Windows 8、8.1の場合、環境によりBIOSの設定と一緒に「高速スタートアップ」を無効にする必要があります。

【高速スタートアップ】を無効にする方法

1. WindowsキーとXキーを同時に押し、「電源オプション」を選択します
2. 「スリープ解除時のパスワード保護」をクリックします
3. 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします
4. 「高速スタートアップを有効にする（推奨）」のチェックを外します
5. 「変更の保存」をクリックして保存します
6. 再起動を行います



4. ネットワークアダプタ（カード）がMagic Packetを解釈し、受信できる

- ・ 起動するコンピューターのネットワークアダプタ（カード）が、Magic Packetを解釈できるものである必要があります。
（※詳しくはお使いの製品のメーカーおよびNIC（ネットワークカード）のHPをご参照ください）
- ・ また、ネットワーク接続の際は、有線LANを使用する必要があります。

なお、お使いの環境によっては、Magic Packetを受信できるよう、あらかじめネットワークアダプタに関する設定を行う必要があります。

（※ネットワークアダプタの設定は、製品によって異なります）

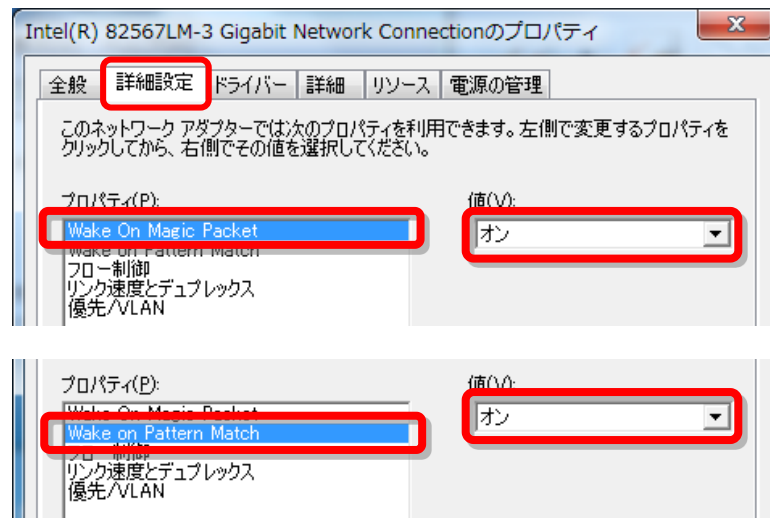
次のページに、WOLを有効にするためのネットワークアダプタの設定例（Intel® 82567LM-3 Gigabit Network Connectionの場合）をご案内いたします。

4. ネットワークアダプタ（カード）がMagic Packetを解釈し、受信できる

【例】 ネットワークアダプタ（カード）の設定

（Intel® 82567LM-3 Gigabit Network Connectionの場合）

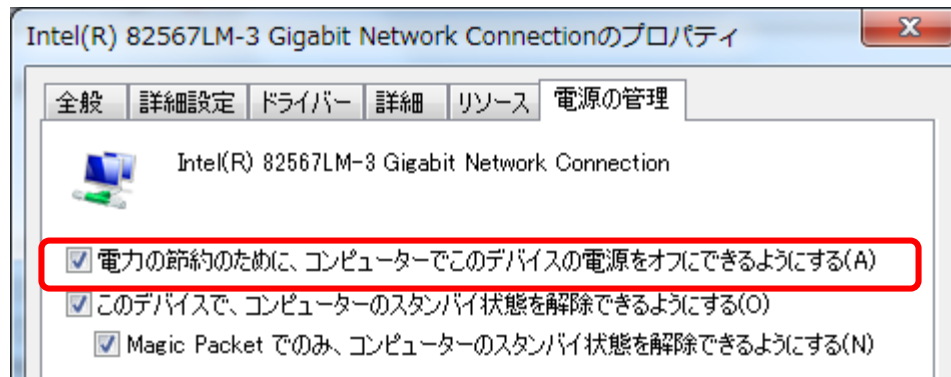
- ① スタートボタンをクリックし、コントロールパネルをクリックしてネットワーク接続を選択します
- ② 変更したいネットワークアダプターのローカルエリア接続を右クリックし、[プロパティ]を選択します
- ③ [構成]をクリックします
- ④ [詳細設定] タブをクリックして、[Wake On Magic Packet] および [Wake On Pattern Match]の値を「オン」にします



4. ネットワークアダプタ（カード）がMagic Packetを解釈し、受信できる

⑤同じく[電源設定] タブをクリックして、以下3つのオプションを「オン」にします。

- ・ [電源節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]
- ・ [このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする]
- ・ [Magic Packetでのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする]



⑥設定を保存し、パソコンを再起動します。

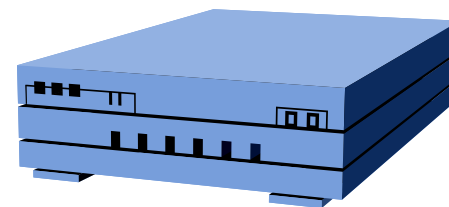
5. 内向きUDPポート2304が解放されている

ネットワーク機器の内向きのポート（プロトコル：UDP）2304番が解放されている必要があります。

6. ルーターがブロードキャストアドレスを許可している

ブロードキャスト（ダイレクトブロードキャスト）アドレスを許可するよう、ルーターを設定する必要があります。

※ルーターの設定は、各製品によって異なります。詳しくはお使いの製品のメーカーHPをご参照ください。



7. 同一ネットワーク内に、電源の入っているISL AlwaysOnインストール済みの端末が最低1台存在している

- ・ ネットワークの外部から端末にアクセスしてWOLを実行する場合は、同一ネットワーク内に電源が入ったISL AlwaysOnがインストール済みの端末(※)が最低1台必要です。

※ISL AlwaysOnのサービスが動作している必要があります。

(休止/スリープ/スタンバイの状態ではISL AlwaysOnのサービスは動作していません)

- ・ また、中間にL3スイッチやルーターが存在し、それらの機器の電源がオフの場合はその先の端末にアクセスすることができません。その場合は既に起動しているマシンに一度アクセスしてから、その端末経由でネットワーク内にブロードキャストでマジックパケットを送信する必要があります。

【補足】

- ・ クラウドライセンスまたはオンプレミスライセンスを外部公開している場合、Wake On LAN対象端末と同一のグローバルIPアドレスでオンライン状態の端末の中から、ランダムに選ばれた端末（最大5台）のローカルIPアドレスのブロードキャストアドレス宛にMagic Packetの送信が行われます。
- ・ そのため、ローカルのネットワークセグメントが多数存在する場合、選ばれた端末から送信されたMagic PacketがWake On LAN対象端末に到達しない可能性があります。

製品についてのお問い合わせは、
以下 株式会社オーシャンブリッジまでお問い合わせください。

ISL Online 国内総販売代理店
株式会社オーシャンブリッジ
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-20-8
寿パークビル 7F
URL: <http://www.oceanbridge.jp/>



つかえるITを、**世界から。**

ISL Online 開発元
XLAB d. o. o.
Pot za Brdom 100
SI-1000 Ljubljana
Slovenia, EU
URL: <http://www.xlab.si/>

